

25年センター試験「地歴」「公民」の問題冊子、“パッケージ(ラップ)”化!

事前登録上と検定料では、「地歴＋公民」を“1教科”扱い。
試験当日、計10科目から解答科目を自由選択!

旺文社 教育情報センター 24年7月5日

24年センター試験(以下、セ試)では、「地理歴史」(以下、「地歴」)と「公民」の問題冊子の配付ミスなどのトラブルが相次ぎ、「本試験」受験者3,000人以上が「再試験」対象者になるなど、大きな混乱を招いた。過去最大級のセ試実施トラブルとなったことを受け、大学入試センターと文科省はそれぞれ検証委員会を設置し、配付ミスの再発防止策として「地歴」と「公民」の問題冊子の合冊化などを提言していた。

大学入試センターはこの程、「地歴」「公民」の問題冊子を“パッケージ(ラップ)”化するなど、25年セ試の実施方法の改善策などを発表した。

<「地歴」「公民」問題冊子の“パッケージ(ラップ)”化>

- 24年セ試では、試験枠[地歴、公民]において配付される問題冊子は、出願時の事前登録内容(受験教科名と科目数)によって、①「地歴1冊のみ」/②「公民1冊のみ」/③「地歴と公民の2冊」の3パターンであった。

そして、受験者の一番多かった③「地歴と公民の2冊」配付パターン(24年セ試で「地歴1科目＋公民1科目」の2教科受験者は、試験枠[地歴、公民]2科目受験者の約88%、約15万8,000人)に「地歴」と「公民」の問題冊子を“2冊同時”に配付せず(2教科の解答順序<第1解答科目、第2解答科目>は受験者によって異なる)、いずれか1冊のみの配付で試験を開始するなどのミスが続出した(69大学・98試験室<試験室総数の1.0%>の受験者3,452人<「本試験」受験者の0.7%>に影響)。

大学入試センター及び文科省の検証委員会による『検証報告書』(24年3月・4月)では、「地歴」と「公民」の問題冊子がそれぞれ分かれていたこと(2分冊)、問題冊子の配付が複雑であったことなどが配付ミスに繋がったとし、問題冊子の合冊を提言していた。

- 大学入試センターでは、配付ミスの実態や『検証報告書』の提言等を踏まえ、25年セ試では「地歴」「公民」の問題冊子(2分冊)を“パッケージ(ラップ)”にすることにした。
したがって、試験枠[地歴、公民]の受験者には、「地歴」「公民」の受験教科にかかわらず、全ての受験者にパッケージ化された「地歴と公民の2冊」が配付される。

＜セ試 [地歴、公民] における“教科数”の扱い＞

○ 「事前登録」上の扱い

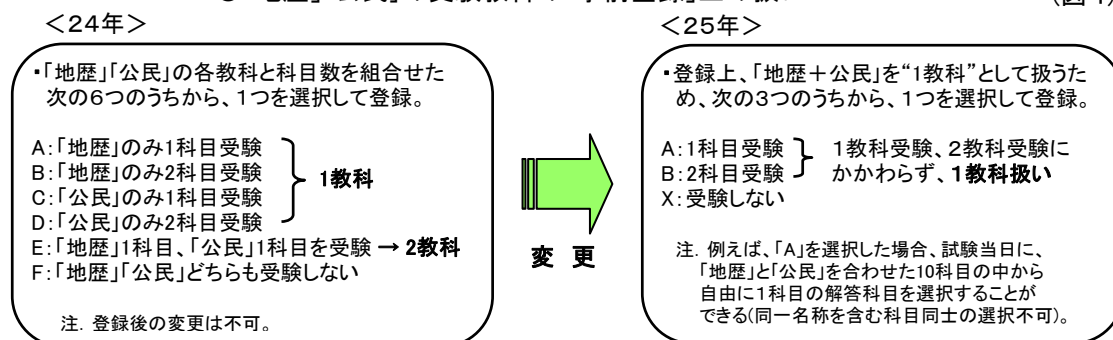
24年セ試では、試験枠[地歴、公民]で1科目または2科目受験の場合、出願時の事前登録の際に受験する教科と科目数の組合せを予め決めてから登録する必要があった(24年は出願後の登録変更不可)。

他方、25年セ試は「地歴」と「公民」のパッケージ化によって、試験枠[地歴、公民]の全ての受験者に同じ問題冊子(2冊)が配付されることになるため、“教科区分”の登録は必要なく、“教科数”は全て“1教科”扱いとなる。そのうえで、“受験科目数”のみを事前登録することになる。

そのため、試験当日は、事前登録した受験科目数にしたがって、「地歴」と「公民」合わせた10科目の中から選択・解答することができる。ただし、同一名称を含む科目同士の選択は不可。(図1参照)

こうしたことから、セ試出願時に予定していた「地歴」「公民」の受験教科を試験当日に変更することが可能で(例:「地歴1科目+公民1科目」<2科目>⇔「地歴2科目」または「公民2科目」など)、24年に比べ、志願大学・学部の出願範囲の制約が緩和されることになる。

●「地歴」「公民」の受験教科の「事前登録」上の扱い (図1)

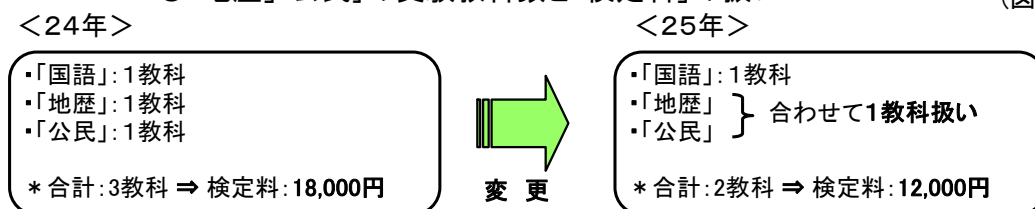


○ 「検定料」の扱い

セ試の「検定料」は受験“教科数”によって異なり、2教科以下受験＝12,000円(成績通知希望は12,800円)／3教科以上受験＝18,000円(成績通知希望は18,800円)である。

25年セ試の試験枠[地歴、公民]受験では「事前登録」上、“「地歴」と「公民」を合わせて1教科”とするため、「検定料」も“1教科扱い”になる。(図2参照)

●「地歴」「公民」の受験教科数と「検定料」の扱い (図2)



<“出題教科”としての扱い>

センター試験の出題教科は、国語／地歴／公民／数学／理科／外国語の“6教科”であり、「地歴」と「公民」は学習指導要領に則り“別教科”である。

したがって、各大学・学部の『選抜要項』や『募集要項』の「セ試利用教科・科目」では、「地歴」と「公民」は“別教科”として扱われている。

<受験教科等の事前登録内容の変更>

- 24年セ試では、出願時における受験教科等の事前登録内容について、出願後の変更は認められなかった。

しかし、25年は志願票(出願期間=24年10月1日～12日)の記入ミスなどで受験教科等の訂正が必要となった場合、『確認はがき』到着(11月5日まで)後、指定期日(24年11月9日<消印有効>)までに届け出れば、登録内容を訂正することができる。

<25年セ試の「試験時間割」>

- 『検証報告書』では、ミスの未然防止を図る観点から、セ試の「試験時間割」等についても検証し、[地歴、公民]の試験時間帯を別の時間帯や第2日目に移動するなど複数の案について検討したという。

しかし、「地歴」「公民」の問題冊子の合冊化を前提とした場合、現行試験時間割より明らかに改善される案を見いだすには至らなかったという。

- 大学入試センターでは「地歴」「公民」のパッケージ化などでミス防止に努め、25年セ試の「試験時間割」については、24年セ試と同じにしている。因みに、25年1月19日(日)・20日(日)に「本試験」が実施される。

なお、試験枠[地歴、公民]と[理科]における第1解答科目と第2解答科目の間の10分間(「中間時間」)は、答案回収と解答用紙配付の時間であり、“トイレ等での一時退出は不可”としている。